

より良いまちづくりについて語り合う

「市長を囲む地域懇談会」を開催しました



7月20日から8月5日にかけて、「市長を囲む地域懇談会」を市内7地区で開催しました。

懇談会には延べ140人の参加があり、参加者からは、ごみ収集などの生活に身近な問題からコミュニティバスの運用や市の施設に関することなど市政全般にわたり、さまざまな意見や提案が出されました。今回は、各地区から出された意見などの中から主な事項を紹介します。

資源ごみの回収袋

Q 1回しか配布されていないが、今後の配布予定は。

A 紙類を資源ごみとして出してもらうきっかけづくりとして回収袋を配布した。今後は別の袋を使って同じような形で出していきたい。

Q 回収袋を資源紙と一緒に捨てたという人がほとんどだった。税金の無駄使いではないか。

A ごみ分別の意識づけとして配布し、右肩上がりでも効果も出てきていることから、分別のきっかけづくりになったと思っている。

お堀周りの一方通行

Q 八尾病院から九電島原営業所までの道路は、通行量が多く一方通行になると不便になる。

A 電線地中化に伴い、お堀の内側に歩道の整備を検討しているが、幅員が狭いため一方通行を考えざるを得ない。現在説明会を実施しているところで、住民の理解を得て、歩道の整備と併せて一方通行も進めたい。

島原道路

Q 愛野〜諫早間の開通と、全面開通の予定を確認したい。

A 諫早区間の2キロを除いて全て事業認可が下りている。はっきりと

いつ完成とは言えないが、地権者との交渉もかなり進んでいる。供用開始の時期が分かれば周知する。

第二小学校通学路

Q 県が拡幅工事をしている第二小学校の下道路に、横断歩道、できれば手押し信号機を付けてほしい。子どもたちの通学路のため、事故が起きる前に市から県へ要望をお願いしたい。

A 昨年11月、書面で島原警察署長宛てに横断歩道・信号機の設定について要望書を提出している。今後、道路開通時にどのような道路事情になるか、通行量調査も必要のため、もう少し時間をいただきたい。

ゴミ処理費用

Q 現在ごみ処理に費用がどれくらいかかっているのか。

A 負担金約8億円を含め、合計で年間約10〜11億円かかっている。ごみ減量に、ぜひ協力をお願いしたい。

霊丘公民館

Q 今年度予定していた大規模改修工事は、予算が凍結されているようだが、今後の工事の予定を聞きたい。

A 最低限の改修工事として約4700万円の予算執行が認められた。工事は、大体10月から着手できるように、準備を進めている。

霊丘地区の避難所

Q 事前要望でお願いしていた、NTTビルを避難所とすることに、もう少し積極的に交渉してほしい。

A 公的な避難所としての建物の使用は難しいかもしれないが、敷地には一時避難できる。町内会でも話し合っていただし、一時避難場所としての要望があれば、改めて市の方でも話をさせていただく。今年度作成した防災マップも活用していただきたい。

島原文化会館

Q 設計的にも建築的にも価値のある歴史的建造物であると思ってる。存続させることはできないか。

A 昭和49年に建てられ、年数も経っており、維持していくためには相当のお金がかかる。

しかし、存続については多角的な観点から考える必要があり、現在方向性を模索している。もう少ししばらく時間や意見をいただく中で、一定の方向性が見えてくるものだと考えている。

有明体育館

Q 解体されると聞いているが、雨天時の運動広場として利用するなど、何か活用できないか検討してほしい。

A 老朽化が進み、状態も悪いため、公共施設等総合管理計画に基づき、廃止する方針である。

危険地域

Q 各町内会・自治会で危険地域が違うため、ハザードマップや危険箇所、避難箇所の説明を、町内会・自治会単位でお願いしたい。

A 今年度全世帯に防災マップを配布し、土砂災害警戒区域や急傾斜地も示している。対象の地域住民には説明会を行った。今後引き続き町内会・自治会ごと、班ごとに説明をしていきたいと考えている。また、本市では日本一の自主防災組織を目指し、各地区で自主防災組織の再編に取り組んでいる。

コミュニティバス

Q コミュニティバスの運行に伴い、島鉄は国道以外の路線を廃止すると聞いている。コミュニティバスは島鉄のために走らせるのか。高齢者のために走らせるのか。

A コミュニティバスは市民・高齢者などの交通弱者のために走らせている。

9月いっぱいまで島鉄が18路線を廃止の予定にしている。高齢者の免許返納が進み、社会参加できないような状況が考えられるため、コミュニ

ティバスを駆使し、買い物や病院に利用できるよう準備を進めている。

ワクチン接種

Q 医者の中でもワクチン接種に関してさまざまな意見がある中で、市として接種を勧めるだけでなく、接種の危険性は示さないのか。

A ワクチン接種は厚労省の専門部会が地方自治体に接種を推奨している。ワクチン接種を勧めることを明確にしなければ、市民にもっと不安を与えてしまうので、責任をもって実施しなければと思っている。ただし、打つ打たないは任意である。

町内会・自治会

Q 役員などの引き受け手が無くなり、市が言うような絆づくりが難しくなっている。市としても町内会・自治会組織をどうしていくのかを考えてほしい。

A 働き方や生活スタイルの多様化で、若い人が加入しなくなっている。だれもが加入したくなるような地域コミュニティの在り方を模索している。きっかけの一つは自主防災会であり、高齢者も子どもたちも声掛けと一緒に避難するなど、日ごろから顔が見える環境を作ることが必要である。

市長コラム

古川 隆三郎

がんばれ

「たしろ号」!!

「予約・あいのり・たしろ号」が10月から新たにスタートしました。市内251カ所の停留所を準備し、買い物や病院へ、あるいは市役所や温泉へ、さらには駅で降りて列車で、行動範囲が広がります。乗りたい30分前まで予約できます。

私は相乗りを「愛のり」と呼ぶことにしました。車内ではお互いに町の話や子育て、孫などの話で盛り上がり、多くの出会いや触れ合いが生まれます。来年春開業予定のイオン島原店にも立ち寄れます。

コンパクトなまち、島原をより一層便利に感じていただけます。特に運転免許証を返納した人など、新たな交通手段としてご活用ください。市民の皆さん、私と車内で会ったら、いろいろなお話を聞かせてください。よろしくお願いします。